



社会新報 (岡山県連合版)

2016年7月13日
(参院選特集号外)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3
☎03-3592-7515 1部180円/月700円/年160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

参院選の結果について

社民党全国連合2016.7.11

社民党は、「アベ政治の暴走を止める」を前面に、比例現職2を含む公認7、選挙区公認4を擁立し「2議席以上、250万票以上」を目標に全力を挙げた。結果は前回選挙より得票・率ともアップしたが当選1議席のみと極めて厳しい結果となった。ご支援いただいた皆さんに感謝申し上げますとともに、期待に沿えなかったことをお詫びします。

今回の参院選は、民主主義、立憲主義、平和主義を取り戻し憲法改悪を阻止する極めて重要な闘いで、アベ政権の危険性を訴え、確かな手応えがありました。

しかし、アベノミクスの幻想振りまきの意図的な争点隠しで社民党の組織的力量の不足は政策を十分に浸透できなかった。また、参院選挙より都知事選報道を優先するなどの問題も関心が低下も指摘される。

それでも候補者・党員・支持者の奮闘で比例区では150万票を超え、得票率も2.74%に伸ばすことができた。

1人区での市民・野党共闘を通じて多くの皆さんと新たな絆をつくることができた。社民党はこの新たな絆を原動力として、党再建・再生の真剣な議論で、新たなスタートを切る決意です。

今回、改憲勢力に3分の2以上を許す結果となり、「国民の信任を得た」とする安倍政権は「戦争する国」へ明文改憲が焦点となってこよう。「緊急事態条項」で政府に全権・白紙委任で9条骨抜き危険もあり、改憲阻止、戦争法廃止へ野党共闘をさらに強め護憲の社民党の全力を挙げていきます。

いまから新たな闘いが始まります。「平和」を願う市民の力が試される時です。新しく投票された若い人も、投票で終わりでなく政治の見極めが大切です。決してあきらめず、護憲政党としての誇りをかけて「アベ政治の暴走を止める」ために奮闘、憲法の理念を生かした社会の実現に全力で取り組んでいきます。(要旨：文責党県連合)

新しい絆で改憲阻止の活動を戦争法廃止まであきらめない



参院選比例得票

	得票数	得票率
岡山	12,659	1.60%
全国	1,536,239	2.74%
前回比得票数・率ともアップ		
選挙区候補		
黒石	329,501	41.9%
小野田	437,347	55.6%
田部	20,378	2.6%



選挙戦最終日、統一候補の黒石健太郎さんのマイク納めを前に共闘した社民・共産・いっほんが共闘あいさつ(武本幹事長)

「支援に感謝します」

選挙翌日の朝刊には全面的に改憲勢力が3分の2超の文字が躍る。選挙期間中は、新聞・テレビなどで「改憲」が取り上げられたことがなく、つらばられたことなど選挙の頭がだれか話などで論議はワイドショーの話題にもなっていない。日本の国形を変えたい。日本の国形に変わらぬ選択選挙であるにも関わらずメディアが取り上げなかつたのは何故だろうか。

選戦のちからを倍増させたい。選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。



選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。

選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。

被ばく71周年 原水禁非核・平和行進

今回の参院選では改憲勢力が3分の2を占めるなど、9条改憲発議が現実の問題になるうとしています。アベ政治の暴走にブレーキをかける国民的「反核・平和」運動の重要性も増してきます。今年も暑い夏がやってきました。原水禁平和行進を行います。体調に気をつけて行進しましょう。

- 7月18日(月・海の日) 大浜公園
- 8:30 集合 出発集会
- 9:00 平和行進出発
- 12:30 妹尾公民館着(予定)
- 広島引継ぎ集会・県平和センター
- 7月27日(水) 10:00集合
- かさおか太陽の広場
- 岡山から貸切バス(乗車08:30
- 券金ビル8:45発 希望者は党県連合へ)



選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。選挙戦の準備は、市民・野党共闘の戦いである。

